データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
015	00957	課税年度	不納欠損期別情報	○	○	YEAR	4			必須	・課税の事由となる根拠の発生した年度で、本来課税を行うべき年度 ・法人住民税の場合、法人の確定申告、中間申告等に係る申告期限（申告期限が延長されている法人の場合は延長前の申告期限）が属する年度	法人の場合で課税年度を管理していない場合は、賦課年度と同じ値を設定すること	◎
015	00958	通知書番号	不納欠損期別情報	○	○	X	20			必須	・通知書を特定可能な番号 ・軽自動車税においては徴収単位を一意に特定可能な番号 ・法人住民税の場合、法人を一意に特定可能な番号		◎
015	00959	業務詳細（税目）コード	不納欠損期別情報	○	○	X	2	016-008		必須	対象となる業務の詳細（税目）を示すコード		◎
015	00960	特別徴収義務者指定番号	不納欠損期別情報	○	○	X	12			必須	滞納者が特別徴収義務者の場合の、特別徴収義務者指定番号	個人住民税（給与特別徴収）でない場合は、0を設定すること	◎
015	00961	期別	不納欠損期別情報	○	○	X	2	016-007		必須	賦課税の場合、期別または月別		◎
015	00962	申告履歴番号	不納欠損期別情報	○	○	9	8			必須	法人住民税において、事業年度内の課税申告（申告書、見込納付）を時系列に付番した番号	・古いものから昇順でカウントアップ ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
015	00963	事業年度番号	不納欠損期別情報	○	○	9	8			必須	グループ間の紐付けに用いる番号	・設定値はアプリケーションの規定によることとする（連番、事業年度開始日 等） ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
015	00964	宛名番号	不納欠損期別情報	○	○	X	15			必須	個人(法人を含む)を識別する番号		◎
015	00965	欠損年月日	不納欠損期別情報	○		DATE	10			必須	不納欠損となった年月日		◎
015	01574	最新フラグ	不納欠損期別情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
015	00955	指定都市_行政区等コード	不納欠損期別情報			X	12	999		任意	自治体ごとに定める任意の行政範囲を示すコード	・各自治体固有のコード利用を想定 ・総合支所等、任意の行政範囲を示すコード ・指定都市以外は標準オプション機能	◎
015	00966	申告区分	不納欠損期別情報			X	2	011-017		条件付き必須	法人住民税の申告の種類	※※01500959が07の場合	◎
015	00967	事業年度開始日	不納欠損期別情報			DATE	10			条件付き必須	課税対象となった事業年度の開始年月日	※※01500959が07の場合	◎
015	00968	事業年度終了日	不納欠損期別情報			DATE	10			条件付き必須	課税対象となった事業年度の終了年月日	※※01500959が07の場合	◎
015	00969	市税事務所コード	不納欠損期別情報			X	5	999		任意	市税事務所を表すコード	・各自治体固有のコード利用を想定 ・指定都市以外は標準オプション機能	◎
015	00970	起案年月日	不納欠損期別情報			DATE	10			必須	不納欠損の起案を行った年月日		◎
015	00971	決裁年月日	不納欠損期別情報			DATE	10			任意	不納欠損の決裁を行った年月日		◎
015	00972	不納欠損事由	不納欠損期別情報			X	2	033		必須	不納欠損が発生した事由		◎
015	00973	調査担当者コード	不納欠損期別情報			X	10			必須	自治体側の調査担当者のコード	各自治体固有の番号体系で管理する	◎
015	00974	不納欠損メモ	不納欠損期別情報			N	2000			任意	不納欠損に関するメモ		◎
015	00975	確認事項	不納欠損期別情報			N	2000			任意	不納欠損に関する確認事項		◎
015	00976	不納欠損金額_本税	不納欠損期別情報			9	11			必須	不納欠損金額のうち、本税分		◎
015	00977	不納欠損金額_延滞金	不納欠損期別情報			9	8			必須	該当の期別において不納欠損を行った確定延滞金額		◎
015	00978	不納欠損金額_督促手数料	不納欠損期別情報			9	8			任意	不納欠損金額のうち、督促手数料分		○